

労働力調査表

昭和 年 月 分

(枚の内 枚目)

総理府統計局

指定統計第30号

地 方	市・郡	区・町・村	調査区	単位地区	世 帯
			ABC 準		

指導員検印	
調査員押印	

個人符号	13才以下の者					14才以上の者				
	51	52	53	54	55	1	2	3	4	5
氏 名										
男 女 別	男 女	男 女	男 女	男 女	男 女	男 女	男 女	男 女	男 女	男 女
出 生 年 月 日	昭和 年 月 日	昭和 年 月 日	昭和 年 月 日	昭和 年 月 日	昭和 年 月 日	明大昭 年 月 日	明大昭 年 月 日	明大昭 年 月 日	明大昭 年 月 日	明大昭 年 月 日
年 齢	才	才	才	才	才	才	才	才	才	才

以下世帯内の14才以上の者に対して

14才以上の者	世帯主との続柄	(1)	主他	主他	主他	主他	主他	(1)	
	配 偶 関 係	(2)	未有他	未有他	未有他	未有他	未有他	(2)	
	調査週期中主として何をしていたか	(3)	仕家学他	仕家学他	仕家学他	仕家学他	仕家学他	(3)	
	(3)以外の者に対して 調査週期中収入を伴う仕事(家族従業者の従業を含む)を少しでもしましたか	(4)	然 否	然 否	然 否	然 否	然 否	(4)	
④の者に対して	調査週期中勤務先、又はあなたの経営する事業はありましたか	(5)	勤事無	勤事無	勤事無	勤事無	勤事無	(5)	
	(5)の者に対して 調査週期中の一部又は全日数に対して給料貸金の支拂を受けましたか、又は受けることになつていますか	(6)	受 否	受 否	受 否	受 否	受 否	(6)	
	(5)の者に対して 調査週期中あなたの事業に家族又は雇用者で従業した方はありましたか	(7)	有 無	有 無	有 無	有 無	有 無	(7)	
	調査週期中収入を伴う仕事を(可能な範囲で)したいと思いましたか	(8)	然 否	然 否	然 否	然 否	然 否	(8)	
	(8)の者に対して 仕事を探しましたか(例えば人に依頼したり公共職業安定所に申込みなどして)	(9)	探 否	探 否	探 否	探 否	探 否	(9)	
	③、④及び⑤の者に対して	就 業 時 間	仕 事 A	時間	時間	時間	時間	時間	(10)
仕 事 B			時間	時間	時間	時間	時間		
合 計			時間	時間	時間	時間	時間		
「仕事A又は(5)の、⑤の仕事について」		従 業 先 の 名 称	(11)						(11)
		従 業 先 の 事 業 の 種 類	(12)						(12)
⑥の者に対して	従 業 先 での 仕 事 の 種 類	(13)						(13)	
	従 業 上 の 地 位	(14)	業家一雇日主	業家一雇日主	業家一雇日主	業家一雇日主	業家一雇日主	(14)	
	(14) (業主)の者に対して……雇用者の有無	(15)	有無公私	有無公私	有無公私	有無公私	有無公私	(15)	
③の者又は④の者に対して	調査週期中にした仕事以上に同じ仕事又は別の仕事をしたいと思いましたか	(16)	然 否	然 否	然 否	然 否	然 否	(16)	
		(17)	時間	時間	時間	時間	時間	(17)	
	(16)に 対 して	実際にした仕事の他に何時間位(可能な範囲で)よけいに就業したいと思いましたか	(17)	時間	時間	時間	時間	時間	(17)
		仕事を探しましたか(例えば人に依頼したり公共職業安定所に申込みなどして)	(18)	探 否	探 否	探 否	探 否	探 否	(18)
④の者に対して	(18)に 対 して	仕事を探しましたか(例えば人に依頼したり公共職業安定所に申込みなどして)	(18)	探 否	探 否	探 否	探 否	探 否	(18)
		符 号	=					=	

調査時間	世帯主	A	個 人 的 に	A				A
		B		B				B
		C		C				C

(表)

総 理 府 統 計 局

労 働 力 調 査 就 業 時 間 記 入 票

昭 和 年 月 分 (日 从 日 まで)

指 定 統 計
第 3 0 号

地 方 市 ・ 郡 区 ・ 町 ・ 村	調 査 区	単 位 地 区	世 帯 個 人
	A B C 準		

氏 名 _____

調査世帯の14才以上の方は調査週間に実際に仕事に従事した時間を裏面の「就業時間記入上の注意」に従って毎日必ず下の表に記入して下さい。

仕 事 月 日	実 際 に 就 業 し た 時 間			
	(1) 本 業	(2) 副 業 (又 は 内 職)	(3) そ の 他 の 仕 事	
月 日	時 間 分	時 間 分	時 間 分	時 間 分
● 月 日	時 間 分	時 間 分	時 間 分	時 間 分
● 月 日	時 間 分	時 間 分	時 間 分	時 間 分
● 月 日	時 間 分	時 間 分	時 間 分	時 間 分
● 月 日	時 間 分	時 間 分	時 間 分	時 間 分
● 月 日	時 間 分	時 間 分	時 間 分	時 間 分
● 月 日	時 間 分	時 間 分	時 間 分	時 間 分
● 月 日	時 間 分	時 間 分	時 間 分	時 間 分
合 計	時 間 分	時 間 分	時 間 分	時 間 分

こ の 欄 に は 調 査 員 が 記 入 す る こ と。 こ の 欄 に は 調 査 員	就 業 時 間	仕事A(1)および(2)の中で最も多くの時間就業した仕事)	時 間	調 査 員 印
		仕事B(仕事A以外の仕事)	時 間	
		合 計	時 間	

(裏)

就 業 時 間 記 入 上 の 注 意

- 就業時間記入欄に記入する時間は、すべて収入を伴う仕事に実際に従事した時間(早出、残業等の時間を含め、食事、休憩、又は通勤に要した時間を除く)をそれぞれ本業、副業、その他の仕事別に記入して下さい。但し家族従業者として就業した場合も収入を伴う仕事とみなし、その時間を記入して下さい。しかし自家の家事や学生生徒の通学や奉仕作業等のような活動に従事した時間は収入を伴う仕事とみませんから就業時間に含めないで下さい。
- (1)本業、(2)副業(又は内職)、(3)その他の仕事の欄の記入は自分の判断によつて本業に従事した時間を(1)欄に、副業(又は内職)に従事した時間を(2)欄に記入し、二種以上の副業(又は内職)に従事した場合はその主なるものに従事した時間を(2)欄に、それ以外の副業(又は内職)に従事した時間を(3)欄にまとめて記入して下さい。もし就業時間が全くない場合は「0時間0分」のように0を記入して下さい。
- 就業時間の取扱い方について二・三の例を挙げますと、
 - 農業の場合 農業経営のために費した一切の時間で、耕作はもちろん脱穀や調整、肥料の運搬、農具の手入、農地への往復に要した時間等の時間を含めて下さい。
 - 漁業の場合 農業の場合と同様、漁業経営に費した一切の時間で船や網等の手入に費した時間も含めて下さい。
 - 卸売業又は小売業の場合 商店では普通開店から閉店までの時間から食事、休憩などのように業務に関係がない時間を除いた時間を記入して下さい。なお閉店しても店の経営に関係のある商品の仕入れ、帳簿の整理などに従事した時間は就業時間に含めて下さい。
 - 自由業の場合 診療室を持つている開業医のような場合には上記卸売業又は小売業の場合に準じて記入して下さい。定まった従業場所を持たない助産婦のような場合は直接助産に要した時間と往診に要した時間を就業時間として記入して下さい。
 - その他の場合 は大体上記の例に準じて就業時間を決めて下さい。
- 以上就業時間の記入要領についてのべたのですが、もし記入上疑問の点がありましたら調査員に尋ねて正しい記入をして下さい。